

すべてのJR職場の 安全確立にむけて

**JRで働く仲間の労働災害を撲滅すべく
取り組みを推進しよう!**

2019年10月16日(水)、香川県民ホール・レクザムホールにおいて、「第11回安全シンポジウム」を開催した。

今回の安全シンポジウムはテーマを「労災」とした。その目的は、JRで働く仲間の安全を守っていく決意や有為な手法等を共有すべく、安全に対する取り組みを総括・検証・問題提起し、安全最優先の意識を浸

透・共有化する機会とすることである。一方、JR産業は鉄道事業を基幹産業としつつも、幅広い業種・業態に広がっており、さらにはグループ会社や協力会社に至る重層的な構造となっており、JR職場で働く仲間たちは労災の危機に直面している背景がある。

JR連合・加盟単組の仲間と、連合・交連労協とそこに集う産別・単

組ら、総勢400名の参加者は、基調講演、エリア連合からの報告、パネルディスカッション、JR連合からの提起などを通じ、考察を深める機会とした。とりわけ、将来に亘り社会に信頼されるJR産業を確立し、すべてのJR関係労働者の幸せの実現に向けて、安全で安心な職場づくりが第一歩であるとの認識の共有化を図った。

JR連合 第11回安全シンポジウム

すべてのJR職場の安全確立にむけて

～JRで働く仲間の労働災害を撲滅すべく取り組みを推進しよう!～

日本鉄道労働組合連合会(JR連合)



開催エリア代表あいさつ

JR四国労組
執行委員長

大谷 清



初めての四国開催となる、今回のJR連合安全シンポジウム。この四国は、人口減少・高齢化により生産年齢人口減少が進んでおり、JR四国グループにおいても要員確保が深刻な課題となっています。これは、安全を脅かす背景として、最も危惧しなければなりません。

今回のテーマである「労働災害」ですが、2010年度以降、JR四国グループにおける死亡事故は発生していません。しかし、重大労災は、たびたび発生しています。この間、労使では、対策も含めて、さまざまな議論を重ねてきました。しかし未だに、労災事故の撲滅には至っていません。

今回ご参加の皆さまと、JR連合全体で職場から安全をつくり上げていく決意を誓い合い、この機会を得られた新たな知見を、各職場で広く展開していただきたいと思っています。

J R 連合会長あいさつ

安全確立に向けた強い思いを

J R 産業全体で共有し

労働組合として責任ある役割を果たそう

私たち J R 連合は、「安全確立」を運動の最優先課題に位置づけ、お客様の安全はもちろん、「すべての J R 関係労働者の死亡事故・重大労災ゼロ」を目標に取り組みを進めています。そして 2005 年 4 月 25 日の J R 福知山線列車事故の反省と教訓の上に、2006 年度より安全シンポジウムを開催しており、今回が 11 回目となります。

私は、福知山線列車事故の関係当事者である J R 西労組の出身です。一昨年の 4 月 25 日、ご遺族の方々が組織される 4・25 ネットワーク主催の「追悼と安全の集い」に、J R 西労組の委員長の方で、初めて参加をさせていただきました。

集会終了後、子供さんを亡くされた、連合加盟の産別組合に加入されるお客様から、「あなたの方の労働組合は、事故が起きるまで一体何をしていたのか、なぜ事故を防げなかったのか」と問われたとき、私には返す言葉がありませんでした。そして、

J R の職場の最前線で働く私たちが、安全確立のために日々できることをやり切れているのかと、自問自答しながら、毎日の仕事や組合活動に臨むことが大切だということを痛感させられました。J R 連合に集うすべての仲間たちが同じ思いを共有

J R 連合会長

荻山 市朗

し、安全確立のために全力を挙げなければなりません。その決意を、この機会に改めて確認したいと思います。

本日は、「すべての J R 職場の安全確立にむけて」とのテーマを掲げ、グループ労組からも多数の参加をいただいております。J R 連合の「中期労働政策ビジョン」で提起しているように、働く仲間が離職をせずに、安心して意欲を持って長く働き続けられ、人材育成や安定的な処遇につながる環境を築くことが安全確立の基礎です。それを実現するための働

き方改革などを J R 産業全体で進めていくことが重要だと考えます。そして、これらの課題を解決するには、労働組合が責任ある役割を果たさなければなりません。

J R は、20 万人を優に超えるほどの労働者を抱える、幅広い、裾野の広い産業です。しかし、J R 東日本の 4 万人近い未加入者をはじめ、労働組合のないグループ会社、労働組合はあっても契約社員・パート社員・アルバイトは対象外になっているケースなど、私たちの取り組みが届いていない仲間がまだまだ多数いらっしゃると思います。

まず、J R 連合の加盟各単組において、安全確立の取り組みをはじめ、責任ある運動を磨き高めるとともに、J R 産業の持続的発展と働く仲間の幸せを築くために、J R 連合への総結集を訴えたいと思います。

本日は、身近で有益な提起が多くされると思います。皆様の積極的な参加によって、有意義な機会としていただきたいと思います。そして、職場に根差し、働く仲間の信頼の上に活動する私たち労働組合の強みを生かして、安全確立に向け全力で取り組みようお願いします。

